

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

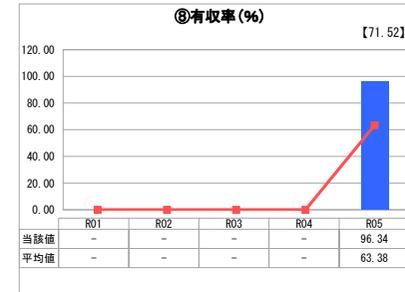
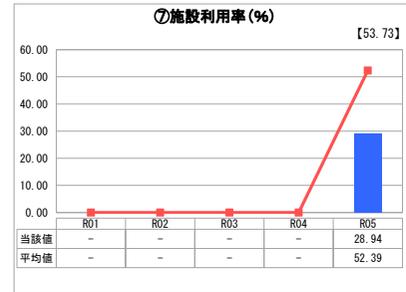
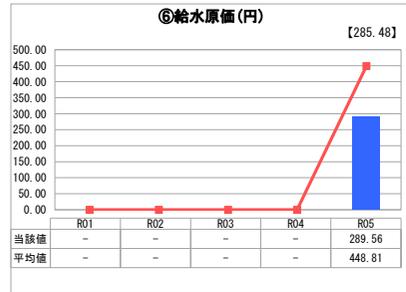
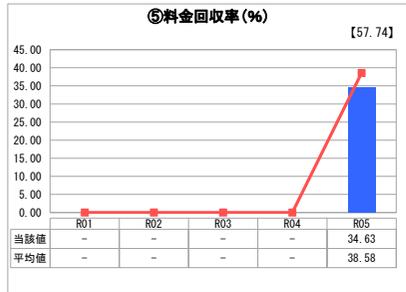
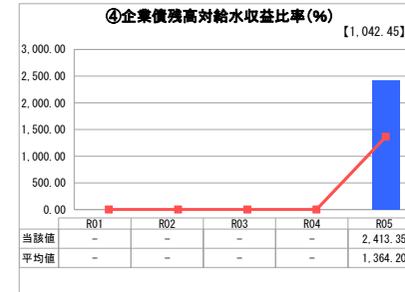
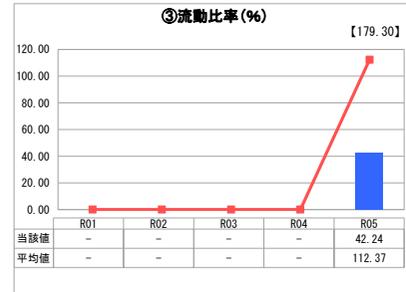
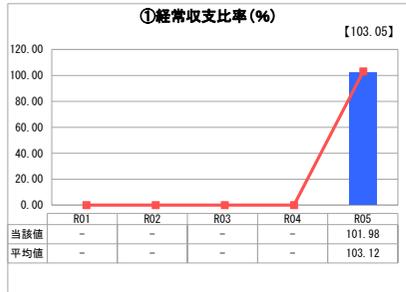
岡山県 新庄村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	52.09	99.38	1,910	

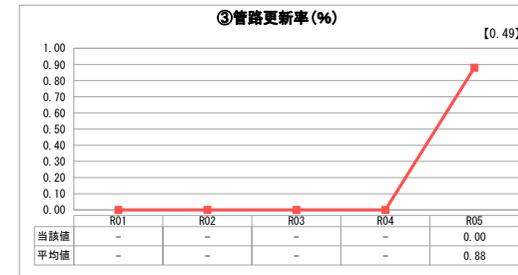
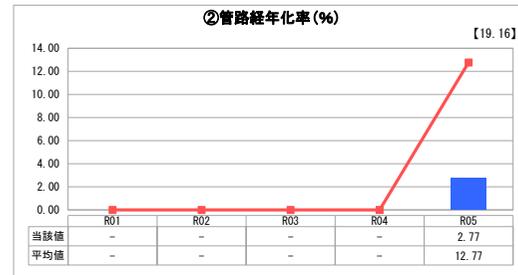
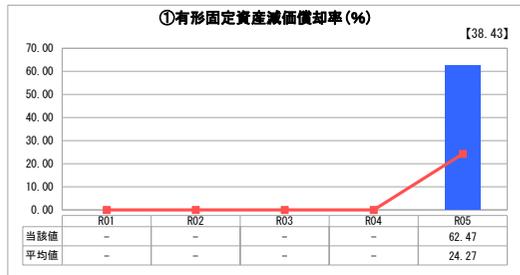
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
832	67.11	12.40
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
806	27.02	29.83

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度より法適化したため、前年度（法適化前）までの傾向より分析を行う。

① 経常収支比率  
100%を超えているものの繰入金に依存している部分もあるため、料金改定の検討や経費の削減に取り組む必要がある。

② 累積欠損比率  
類似団体平均値と比較して高い欠損金が発生しているため、今後、改善していく必要がある。

③ 流動比率  
類似団体平均値と比較して乖離は見られるが、起債の償還が要因として考えられる。今後は償還金の減少とともに改善していく見込みである。

④ 企業債務高対給水収益比率  
類似団体と比較して高い比率となっているが、償還金の減少とともに改善していく見込みである。

⑤ 料金回収率  
100%を下回っているため、料金改定の検討や経費の削減に取り組む必要がある。

⑥ 給水原価  
類似団体平均値と比較して低い数値であるが、人口減少が当該指標に大きく影響しており、さらに物価高騰等による経費の増加も見込まれるため、今後は上昇傾向にあると思われる。

⑦ 施設利用率  
人口減少に伴う給水量の減少により、当該指標が低下していると考えられる。

⑧ 有収率  
類似団体平均値と比較して高い水準となっているため、今後も維持に努める。

### 2. 老朽化の状況について

耐用年数は超えていないものの、管路の老朽化は進行しているため、計画的な更新を行うとともに、有利な起債の選択など財源確保に努める。

## 全体総括

今後の事業運営について、人口減少が進む中、給水収益は減少傾向で推移すると考えられ、一般会計からの繰入金にさらに依存する可能性が高まる。料金改定や経費の削減に取組みつつ、計画的な管路の更新を図り、長期的に改善していくよう努める。